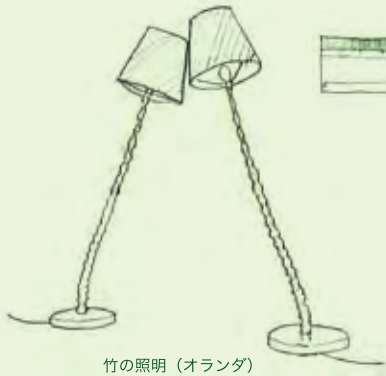


定員 30 名まで

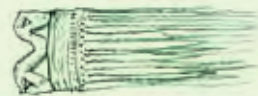
( ) は絵のデザインが生まれた国



竹の照明 (オランダ)



竹のものさし (日本)



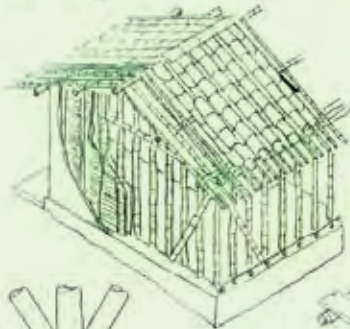
竹のくし (バブアニューギニア)



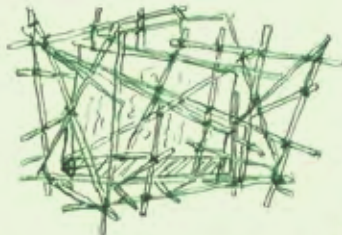
竹の手箒 (日本)



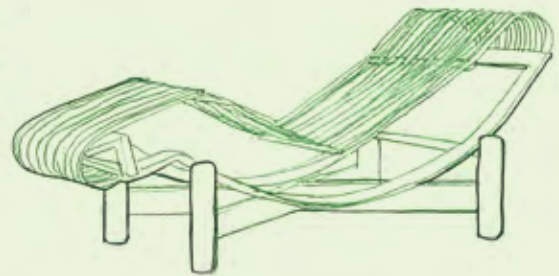
竹のシガーケース (マレーシア)



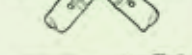
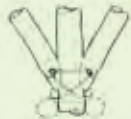
竹の建築 (東南アジア～アジアなど)



竹の小物入れ (ブラジル+イタリア)



竹のリクライニングチェア (フランス+日本・イタリア復刻)



竹の椅子 (インドネシア)



竹の自転車 (イギリス+デンマーク)

International Workshop **Bamboo Art** in Miyazu 2013

# MIYAZU BAMBOO DESIGN CHALLENGE

## 竹のデザインチャレンジ参加者募集

テーマ：留学生と共に考えよう「クールな宮津竹」のデザイン

(竹活用による宮津及び丹後地域にしかできない観光資源・特産品の企画・デザインワークショップ)

場所：丹後 海と星の見える丘公園 セミナーハウス内 研修室

<http://www.eco-future-park.jp/>

日時：12月24日(火) 13:00~16:30

宮津・竹の学校事業は、京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金の補助を受けています。



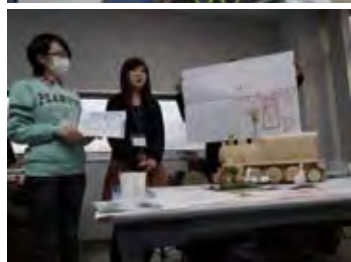
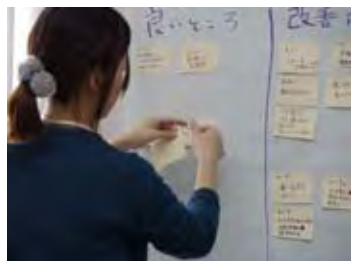
京都府地域力再生活動

従来、建築・造園・工芸等に広く利用されて来た竹材。近年は代替品の進出、竹製品の輸入増加や産地縮小により、国内の生産量は減少し、竹林の荒廃は地域社会の問題となっています。「宮津・竹の学校」は、宮津地域ひいては京都府全域の竹の文化・竹の芸術の再生をテーマに、竹のアート・デザイン・ワークショップなど多様な活動を展開しています。

今回、デザインの専門家、海外からの留学生、大学生らを宮津に招き、丹後地域の皆さんとともに、「クール宮津竹」をテーマに特産品や観光資源などのデザインワークショップを行いたいと思います。

興味ある方ならどなたでも結構です。共に楽しみながら、アイデア出したい人・デザインしたい人をお待ちしています。

講師：石川新一（東南北西デザイン代表・環境デザイナー）、玉井恵里子（株式会社タビ工代表取締役・インテリアデザイナー）、小林大祐（特定非営利活動法人 Design with All 理事長）  
 参加デザイナー：水野哲雄（京都造形芸術大学・教授）、曾和治好（京都造形芸術大学・教授）、藤津紫（Elysian Garden 主宰・ガーデンデザイナー）  
 清水睦（NPO 法人 地球デザインスクール事務局長）ほか



## 当日のワークショップの主な流れ（スケジュール）

※開始の時間以外については若干、変更の可能性があります。

**集合（顔合わせ）**  
13:00 ~ 13:15

- ・あいさつ
- ・進行説明 5~6人 5グループに班分け

**聞く（理解）**  
13:15 ~ 14:00

- ・主旨説明
- ・竹の国際ワークショップや手ぼうきの取組み
- ・クールな竹デザインの事例

**見る（観察検討）**  
14:00 ~ 14:30

- ・一部、取組事例の見学
- ・グループ内での質疑
- ・課題を抽出

**休憩**  
14:30 ~ 14:45

- ・ティーブレイク

**話す（提案抽出）**  
14:45 ~ 15:15

- ・アイデアを抽出する
- ・方向性を議論して絞りこむ

**創る（検証）**  
15:15 ~ 15:45

- ・簡単なスケッチやモックアップ
- ・つくることで共有・合意形成

**魅せる（発表評価）**  
15:45 ~ 16:30

- ・各グループの提案を発表
- ・各案の評価・感想

**終了・片付け**  
16:30 ~

- ・あとかたづけ

主催：NPO 法人地球デザインスクール 宮津・竹の学校実行委員会

<http://ibart2013.jimdo.com/>

事務局：宮津・竹の学校実行委員会

担当 清水・石川・曾和

問い合わせ先：tel/fax 0772-28-9018

mail [ibart2013miyazu@gmail.com](mailto:ibart2013miyazu@gmail.com)

申込締切：12月10日（火）

参加費：無料 交通費は各自ご負担下さい。

